

事業概要表（草の根パートナー型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	東ティモール民主共和国
2. 事業名	コーヒー畑の改善事業
3. 事業の背景と必要性	東ティモールにおける主要産業であるコーヒーの木の老朽化が進み、収量の減少が深刻な課題となっている。インドネシア支配時代に技術の継承が行われず、コーヒー農家がコーヒー栽培技術を習得していないことが要因である。その結果、コーヒー農家の収入が著しく減少し、コーヒー産地の若者が農村を離れる原因ともなっており、東ティモールのコーヒー生産の持続性が危ぶまれる状態になっている。
4. プロジェクト目標	アイナロ県マウベシ郡のコーヒー畑が改善され、その技術基盤が地域の協同組合（ココマウ）に定着する
5. 対象地域及び管轄する領事館	アイナロ県マウベシ郡/在東ティモール日本国大使館
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	アイナロ県マウベシ郡の18の集落（24グループ）に組織されているマウベシコーヒー生産者協同組合（ココマウ）の組合員580世帯、およそ3,000人。
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> モデル農家のコーヒー畑が改善される。 各集落にコーヒー畑の改善指導をできる人材が育つ。 ココマウの中にコーヒー改善技術が定着する。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 専門家の技術指導を得、モデル農家がコーヒー畑の改善プランを実行する。 技術普及指導員が指導方法、モニタリング方法を学びデータとして管理する。 技術普及指導員が組合員にコーヒー畑の改善指導を行い、組合員の手で継続的に畑が管理する。
8. 実施期間	2019年11月～2024年10月（5年0ヵ月）
9. 事業費概算額	96,300千円
10. 事業の実施体制	東ティモールのディリ事務所とマウベシ事務所にプロジェクト・マネージャーと同アシスタントを配置し、東京事務所の担当者と連携しつつ、実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人パルシック
2. 活動内容	<p>【国際協力事業】</p> <p>東ティモール、スリランカにおいて農民・漁業支援及び紅茶の有機栽培支援事業を実施、マレーシアにおいて漁民による環境保全事業。トルコとレバノンでシリア難民支援事業、パレスチナにおいてガザの農業復興支援事業、女性生計向上支援を実施。</p> <p>【フェアトレード事業】東ティモールやスリランカでできたコーヒーと紅茶、ハーブ茶のフェアトレードを実施。</p>